



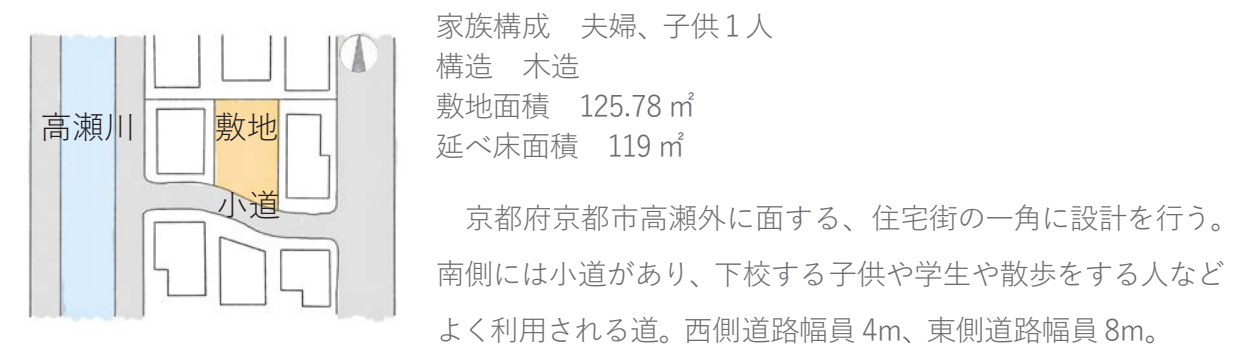
現代社会において、核家族、単身、ひとり親世帯など、家族の形態が多様化している。同時に、携帯電話やインターネットを介したコミュニティの発達により地域に依存する必然性が薄れ、内側や個で完結するものへと変化してきた。しかし家族内や街での生活の一部には様々な表情が隠れている。**人と人との関係性を生み出し、家族と地域社会の双方の豊かな場面を再認知することのできる住宅を提案する。**

02 住宅の役割

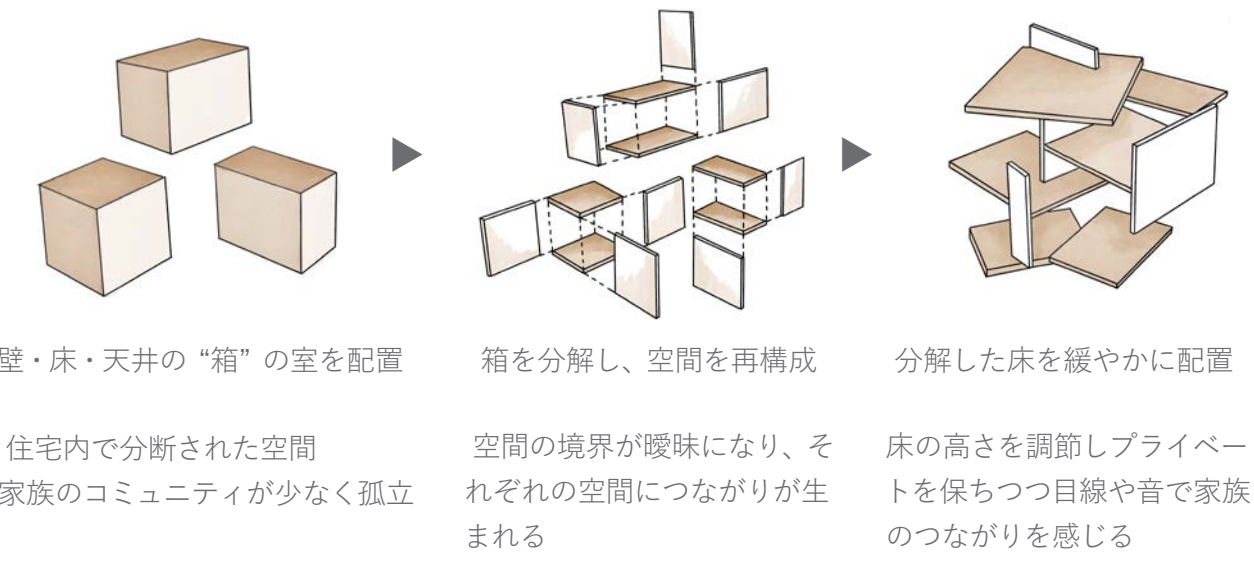
住宅の役割は生活の中心であり、心のよりどころである。日常を形成し、家族においても精神的な安定を求める関係である。



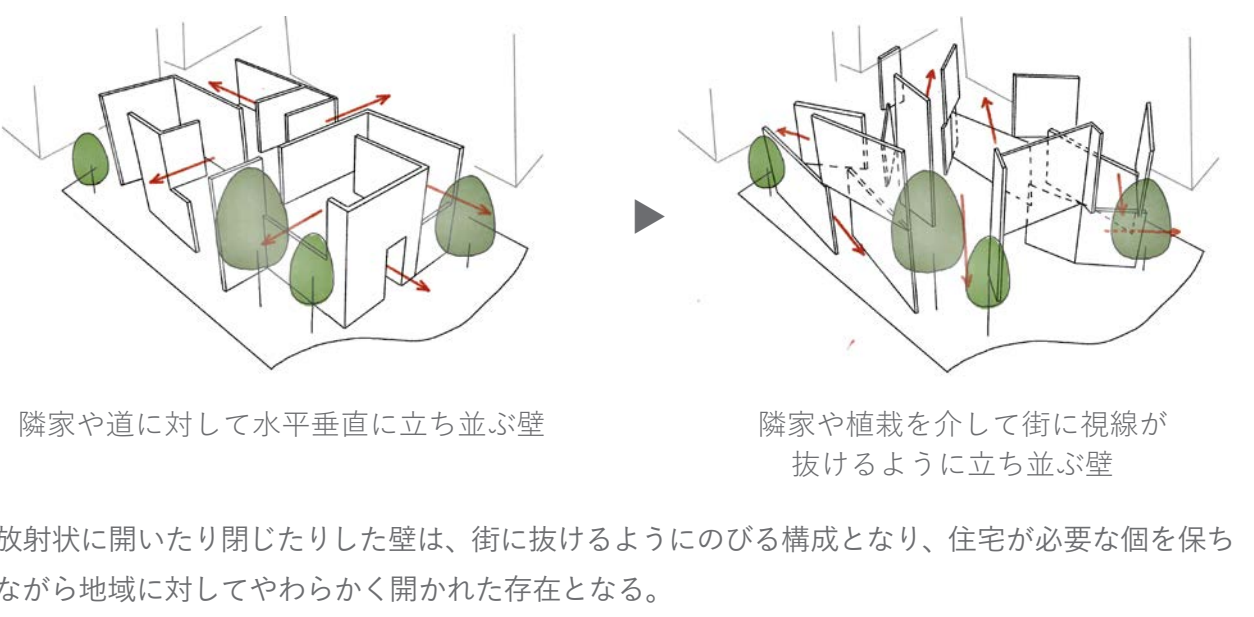
03 敷地



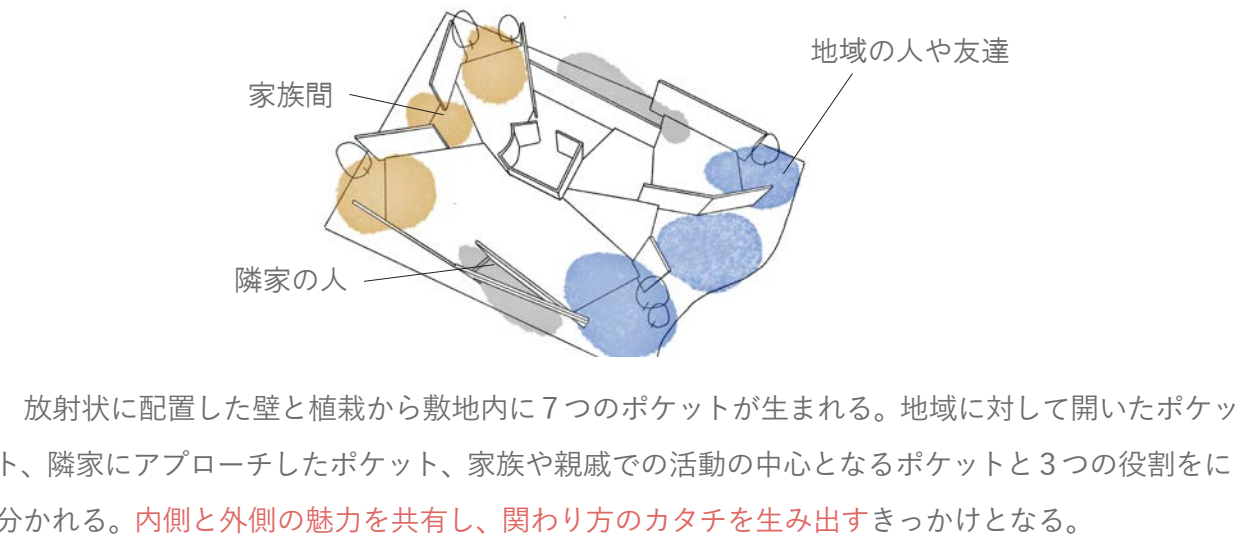
04 家族内の境界を分解



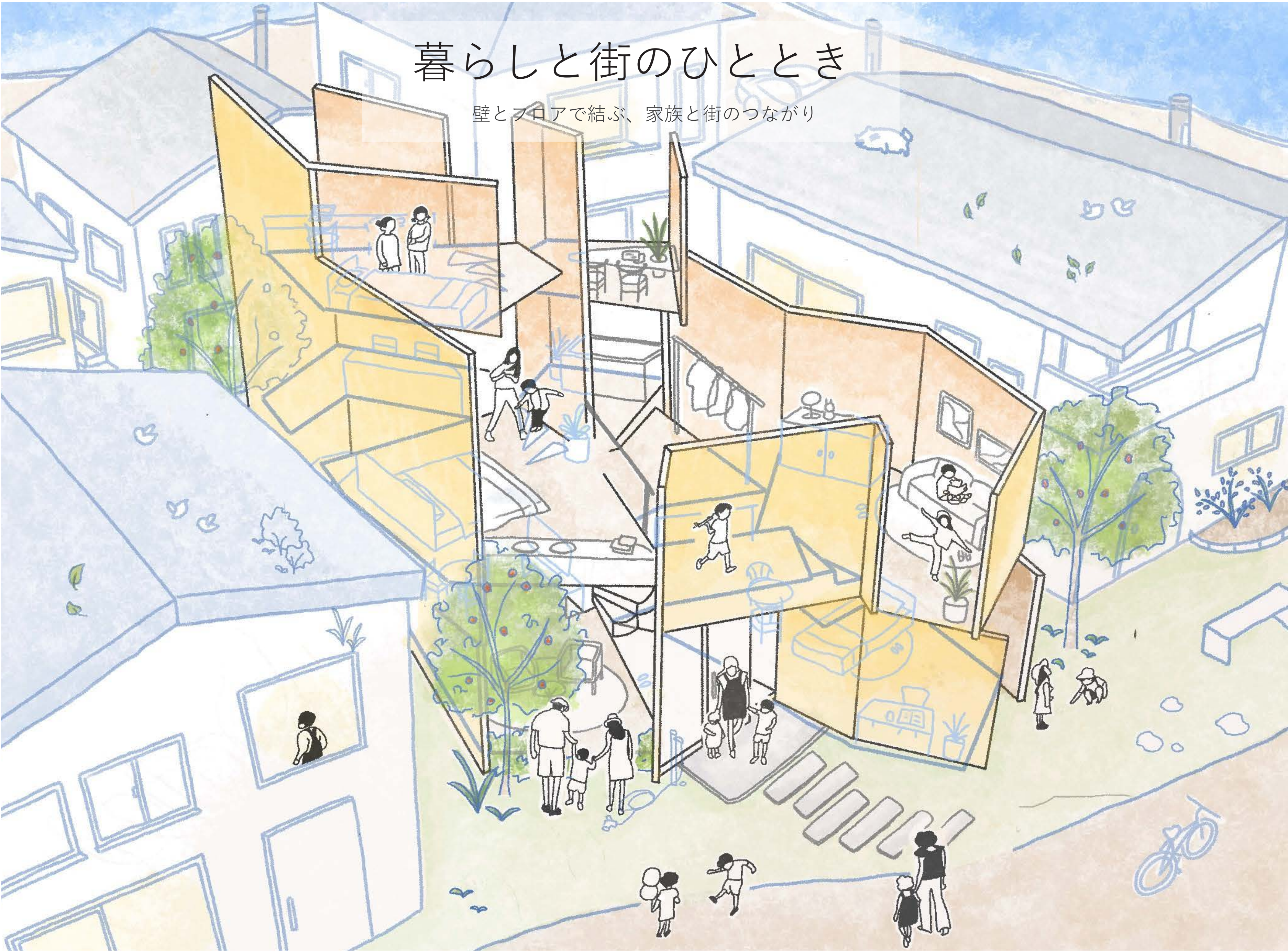
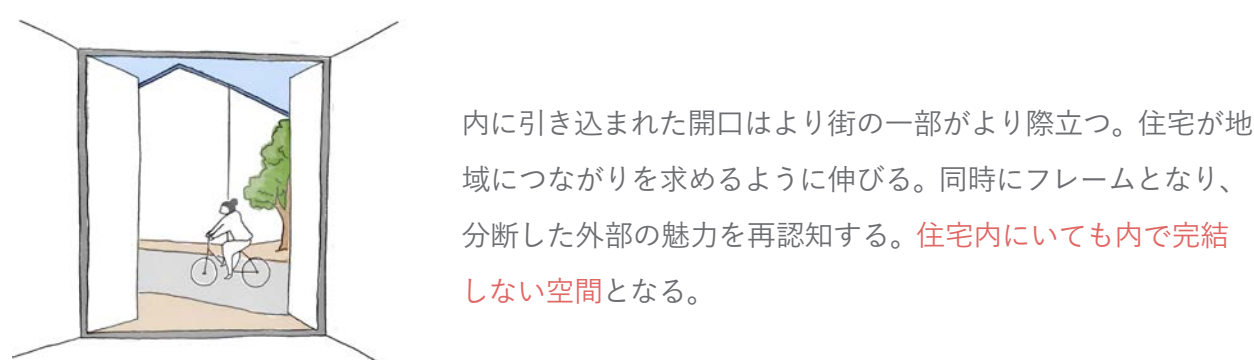
05 まちに抜けるように立ち並ぶ壁



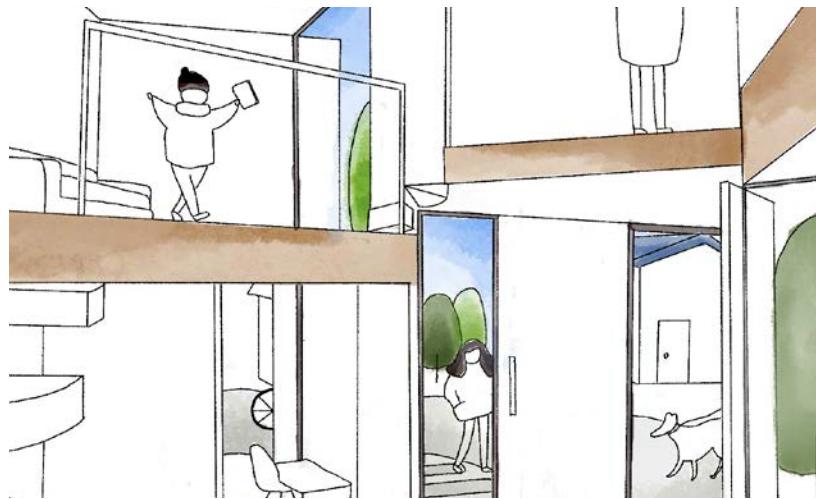
03 ポケットが生む場面



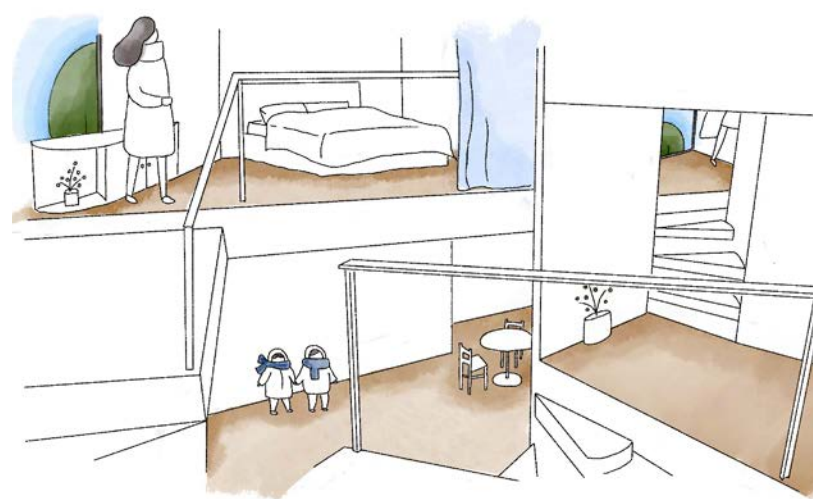
04 街のワンシーン



キッチンから見ることでできる4つの移り変わる場面



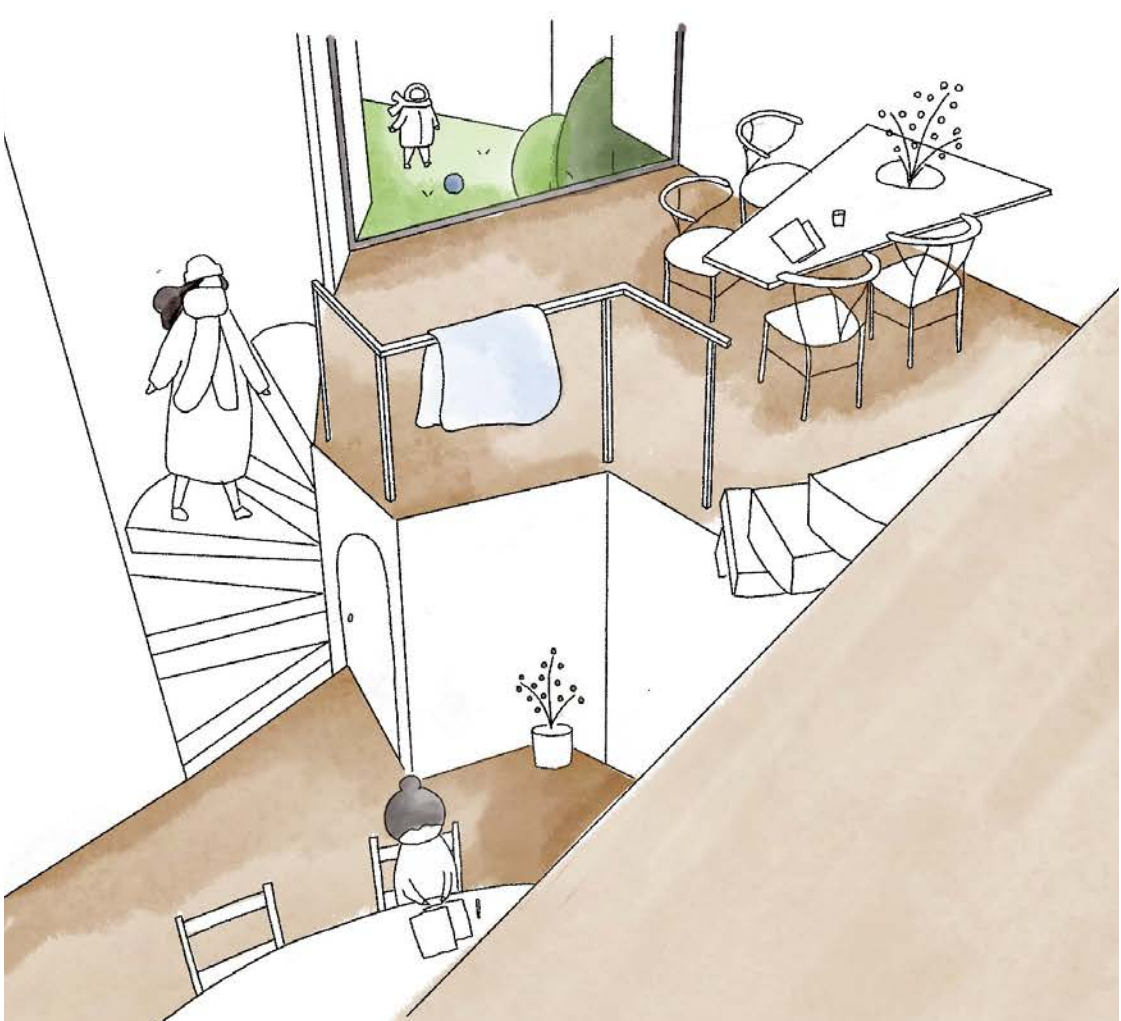
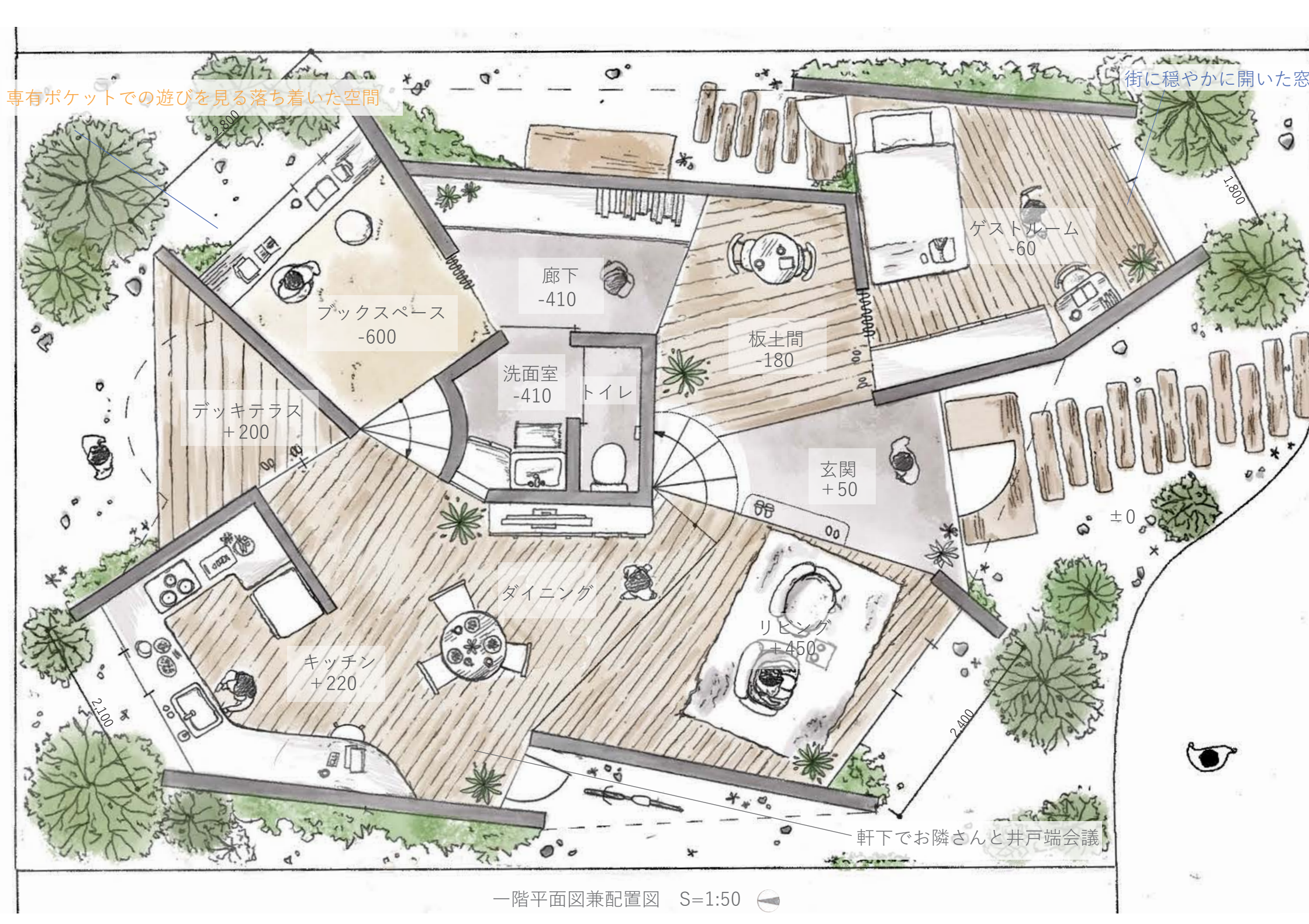
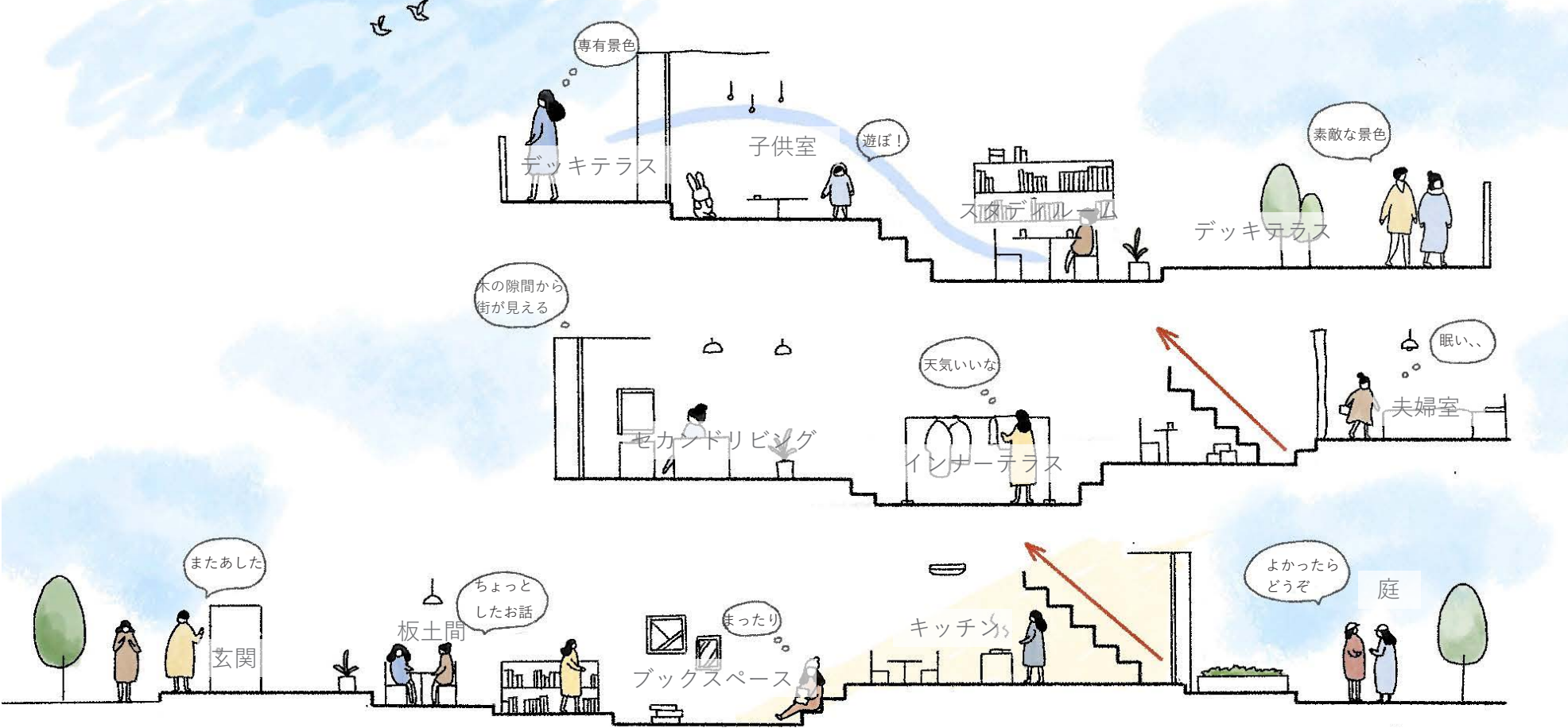
階段は色々なフロアのふるまいと街の賑わいを感じることでできる特別な場所



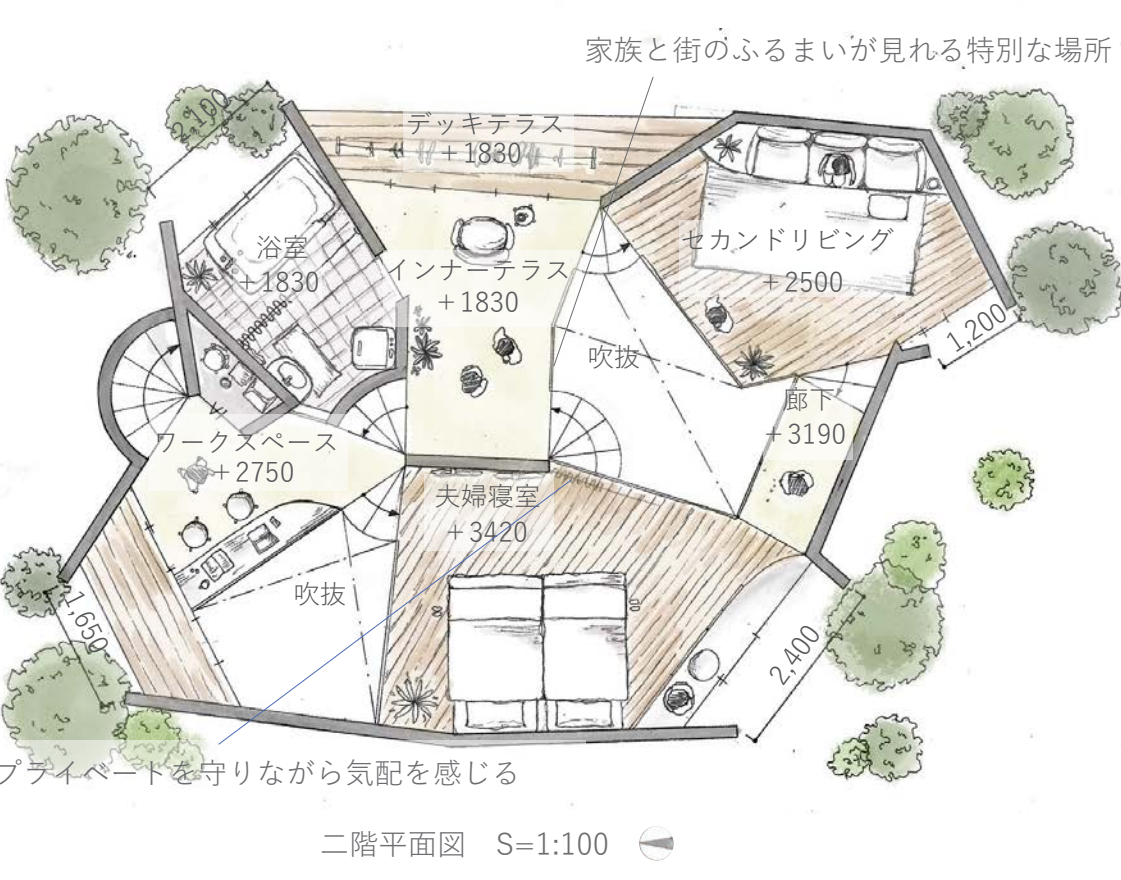
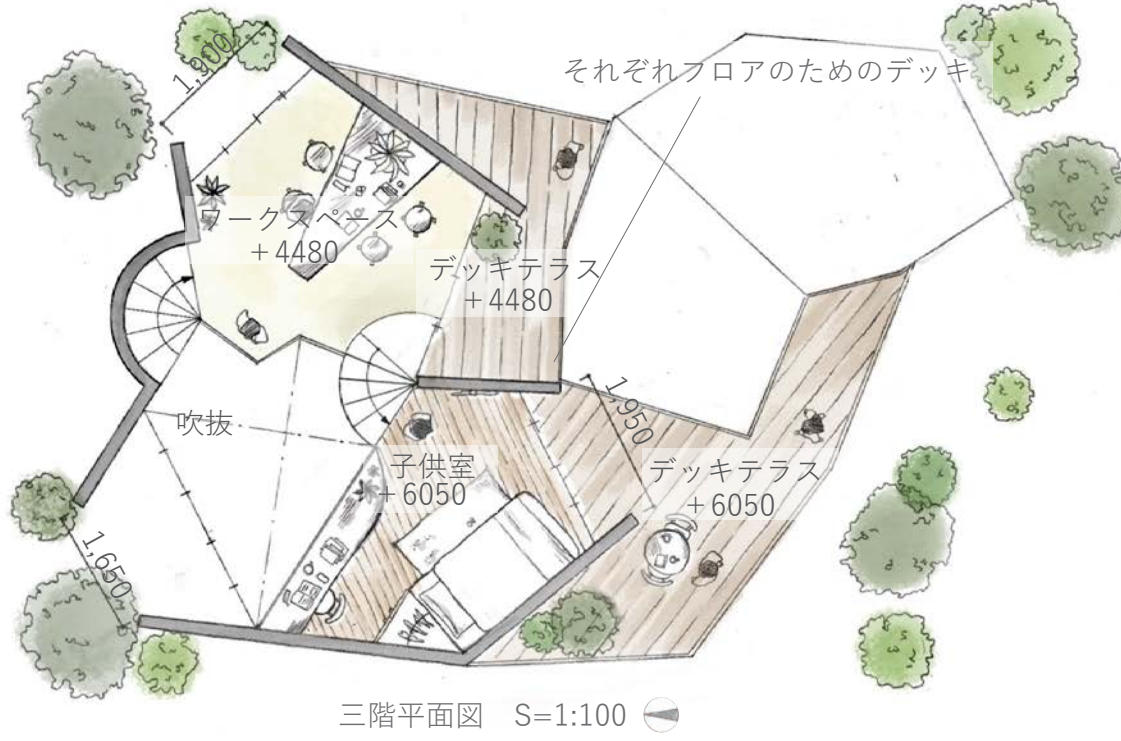
リビングの大きな吹き抜けは家族の存在を感じることのできる空間



お隣さんとのポケットは住宅の雰囲気がこぼれ出たお互いを知る場所



プライベート部分からは共用部とポケットのふるまいが垣間見える



家族と街のふるまいが見れる特別な場所



プライベートを守りながら気配を感じる